

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年2月10日

事業所名 子ども発達支援てだのふあ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		親子クラス、分離クラスで活動の部屋をわけている	
	2 職員の配置数は適切である	6		利用状況に対しては適切だと思う	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		きっちりとした構造化はしてないが完全なバリアフリー設備である	全ての障害を対象にした環境を目指したい
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		設備は当然であるが、おもちゃ等も毎日殺菌している	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		毎日、業務終了時に職員で振り返りを行う	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1		評価表にある「わからない」が少なくなるよう業務内容が伝わるような工夫が必要
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		事業所内に掲示すると共に保護者に配布している	2月にホームページを公開するのでこちらにも掲載したい
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6		第三者の外部評価が今後の課題
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		専門職員による事業所内研修の充実をはかっている	外部の研修会の参加を促して行きたい
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		言語聴覚士を中心に的確なアセスメントを行い個別支援計画書の作成に活かしている	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		複数の検査道具を準備して、適時に実施して状況把握に努めている	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		特に保護者のわが子への理解が向上するように支援を考えている	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		継続的、長期目標を踏まえた支援を行っている	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6		活動の設定、準備を職員全員で行っている	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		目標、目的を明確にして活動を組んでいる	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		事業所の特長でもある言語聴覚士による個別訓練と集団活動を並行して行っている	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		準備、結果、次回への課題を記載する活動記録を全員に周知共有している	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		毎日の振り返りの中で次回への課題を話し合っている	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		活動の記録の中で関わった職員一人ひとりの書き込みを行っている	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		モニタリングの後職員による課題の整理を行い、見直しを行っている		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		管理者、又は自発管が参加している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		3		今後の課題としたい
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		並行通園している保育園、幼稚園への保護者同行の見学を積極的に行っている	今後は見学で得られたを生かして相互理解を図りたい
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			移行支援が主に保育園、幼稚園中心になっている。保護者の要望があれば積極的に参加したい
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		適時に発達障害者支援センターとは連携している	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6		今後の課題としたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	1		今後の課題としたい
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			一部の保護者とはできているが、仕事が忙しく難しい保護者が多い
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6		親子クラスでは毎日の振り返りでペアトレを行っている	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に時間をかけて行っている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	個別訓練時に言語聴覚士が行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		今後の課題としたい
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		6		今後はホームページを活用して行いたい
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		秘密保持及び個人情報に関する誓約書を作成して徹底している	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		今後の課題としたい

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6			子どもたちに訓練の内容をどう理解させるかが課題
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			子どもたちに訓練の内容をどう理解させるかが課題
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		保護者からの服薬依頼書に沿って確認している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		個人記録表で対応している。詳しくは口頭で聞き取りをしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6			
